

Library News



京教図書館 News

2007

8

私のすすめる子の1冊・・・(村上忠幸教授)理学科

ル＝グウィン、清水真砂子訳 「ゲド戦記」 1～5 巻

私は大学院の授業で「理科教育とファンタジー」をテーマとして「ゲド戦記」をめぐって学生達と議論するようにしている。本学に赴任した1999年から毎年後期の数回の授業をこの時間に当てており、学生にはまず1巻「陰との戦い」を読むようにすすめている。当時、「ゲド戦記」は大きな書店でも在庫がなく、入手できない学生があちこちの本屋を探し歩いたと聞かされた。その「ゲド戦記」が、昨年スタジオジブリによって映画化され、大きな話題となり、原作の単行本もヒットした。授業を受けたある学生は「先生、ゲド戦記が映画化されてうれしいでしょう」といった。

「つまらん。禁じ手だ」と私。「不満ですか?」と学生。「ゲド戦記だけは映画化してはいけなかった」(それほどの思い入れはないが)と私。なにやら私は、学生にとって「ゲド戦記」などのファンタジーマニアかオタクに映っているようである。しかし、実は私にはそれほどマニア的・オタク的な造詣があるわけではなく、ゲド戦記の出会いもそれほど劇的なものではなかった。

私は、本学に赴任して教員養成の場に身を置くようになるまではファンタジー、児童文学、科学絵本の類は、基本的に読むこともなしに中身の無いものと決めつけ、読もうとさえしなかった。要するに興味がなかったのである。このような先入観は、それまで自分が自然科学に身を置いており、子供じみたファンタジーなど相手にするべきものではないという意識から発していた。

理科教育の研究に身を置くようになって子どものことを深く考えるようになった。本学最初の夏、通勤電車の暇つぶしとして、本好きの妻の書棚にあったゲド戦記を手にした。恥ずかしい話であるが、ゲドという土地で勃発した戦争の物語と思って読み始めた私は、その物語の壮大なスケール、構成力の緻密さに驚き、その世界にのめり込んだ。ゲド戦記とはゲドという名の少年が、魔法使いとして成長していく過程を描いたファンタジーである。河合隼雄氏によると日本にはこのようなファンタジーは存在しないとのことである。読み終えた私は、それまでの私の人生にゲド戦記に描かれているような世界観がなかったことを惜しいと思った。早速、私は、大学院の授業でゲド戦記などのファンタジーを取り上げた。このような世界を知ってほしいという思いと、何かしらの科学との接点を感じたからである。

私は、「ゲド戦記」などのファンタジーの中にあるような世界は、荒唐無稽な子どもじみたものとは思わない。むしろ、私たちが子どもの時に置いてきた忘れ物が詰まっているような思いがしている。そして、大人でも想像力の翼を開いて自由に発想することができるような源が詰まっているように思う。ぜひ、先入観を捨て、一読されることをおすすめする。

『ゲド戦記』 ル＝グウィン作 清水真砂子訳 1巻 影との戦い 全5巻

1976年9月 (ISBN4-00-028071-6 C0097) 岩波書店 開架図書(児童書コーナー)

■ 図書館からのニュース

1. 夏季休業にともなう長期貸出について

下記のとおり長期貸出をしますので、ご利用ください。

対 象	院生・教職員	学部生
貸出期間	7月2日(月)～9月4日(火)	7月17日(火)～9月19日(水)
貸出冊数	10冊	5冊
返却期日	10月4日(木)	

* 視聴覚資料は除きます。

* 長期貸出図書については、貸出の延長はできません。一度返却してから翌日以降貸出の手続きをとってください。

* 一般利用者の方の長期貸出はできません。

2. 職場体験実習について

8月6日(月)、7日(火)にかけて、本学附属特別支援学校の生徒を受け入れ、職場体験実習を行います。よろしくお願いいたします。

3. 9月から施工される校舎耐震改修工事に関連する利用制限について

(1) 「コレクションの森」室の閲覧制限について

耐震工事に伴い、研究室貸出中の図書等のうち約1/3が図書館に返却されることになりました。大量の返却本の保管場所を確保するため、一部閲覧スペースが制限されます。順次、データ整理を行い館内に配架することにしてはいますが、整理が終わるまで、館内の数カ所に分散して保管します。

特に、北館2階「コレクションの森室」は、返却図書等保管のために閉鎖し、配架してあるGP関係資料は、データ整理が終了するまで、西隣の「文庫閲覧室」に移転しました。資料の利用(閲覧・貸出等)は、従来通りですのでどうぞご利用ください。

(2) 「視聴覚室」の利用制限について

耐震改修工事期間中は、教室・ゼミ室等が不足しますので、「視聴覚室」も教室・ゼミ室等として転用します。授業・ゼミのない時間は利用可能ですが、通常の利用よりも、授業等が優先されます。

以上、よろしくお願いいたします。

4. Library News について

2007年7月号より、図書館HPで公開を始めました。ご利用の程、よろしくお願いいたします。

■ 論のくちび理のむすび・・・(佐々木真理教授)総合センター

「パソコンメールと携帯メールで作成されたレポートの文章の比較」

佐々木 真理・石川 久美子: 京都教育大学紀要 NO.109:P99-110,2006

みなさんは「携帯小説」ってご存じでしょうか？ これは、携帯電話のメール機能を使って、場所を選ばないで書かれた小説で、書店や図書館を通さずに、インターネット上にあって、パソコンや携帯電話で読まれています。年間7万アクセスあったとか、なかには冊子体になって書店で売られている小説もあって、いわば影のブームになっています。ここで、いくつか疑問が湧いてくるでしょう。携帯電話のテンキーで果たして文章がすらすら書けるのか？、一回にどのくらいの字数が書けるのか？、推敲はしっかりできるのか？、携帯電話で文章を書くるとどんな文章になるのか？など。しかし、こんな疑問・不安をよそに、携帯電話はもはや移動電話の機能よりも、メール機能の利用が進んでいます。知り合いの大学教員は、講義中に携帯電話で出席をとったり、リアルタイムで意見を集めてスクリーンに投影し、意見交換をしたり、レポートを出させたりと、もうこれは学習ツールです。当の学生も、携帯電話のテンキーを両手で素早く打っていて、パソコン入力に負けないスピードで、どんどん文章を書いています。

この研究では、本学の学生に、私の担当する講義の際に課した、電子メール提出の1,000字程度のレポート3年分12題、約1,110件について、発信アドレスを手がかりにして、PCメールと携帯メールに分別し、それぞれの文章の特徴を数量的に分析して比較しました。分析には、2つの方法を用いました。一つは、ワープロソフト・一太郎に付属している文章分析ツール機能を利用しました。比較の結果は、論文に表やグラフを用いて載せています。もう一つは、本学の大学院生など20名に、PCメールと携帯メール両方のレポートの文章を10件ずつ読んでもらい、心理学や人間工学でいま流行の感性評価法で感性を測定し、これに因子分析を施しました。PCメールと携帯メールで書かれたレポートの比較から、PCメールは優柔さや豊かな表現と論理的な特徴を持った文章・文脈、携帯メールはストレートで明瞭な特徴を持った文章・文脈として表れることが分かりました。

全文は図書館 HP「京都教育大学紀要」で、ご覧いただけます。

■ 図書館開館スケジュール

(通 常)

開館時間 : 9:00

閉館時間 : 21:00

一部期間は 17:00 に閉館します

下記カレンダー「~17:00」と記載

※7月31日から8月末日までは、夏季休業のため、17時で閉館となります。

8							9																				
日	SUN	月	MON	火	TUE	水	WED	木	THU	金	FRI	土	SAT	日	SUN	月	MON	火	TUE	水	WED	木	THU	金	FRI	土	SAT
						1	整	2		3		4													1		
						休館		~17:00		~17:00		休館													~17:00		
5		6		7		8		9		10		11		2		3		4		5	整	6		7		8	
休館		~17:00		~17:00		~17:00		~17:00		~17:00		休館		休館						休館					~17:00		
12		13		14		15		16		17		18		9		10		11		12		13		14		15	
休館		休館		~17:00		~17:00		~17:00		~17:00		休館		休館											~17:00		
19		20		21		22		23		24		25		16		17	祝	18		19		20		21		22	
休館		~17:00		~17:00		~17:00		~17:00		~17:00		休館		休館		休館									~17:00		
26		27		28		29		30		31				23	祝	24	休	25		26		27		28		29	
休館		~17:00		~17:00		~17:00		~17:00		~17:00				休館		休館										~17:00	
														30													
														休館													

8月1日(水)は館内整理のため休館します。
8月13日(月)は一斉休業のため休館します。

9月17日(月)は祝日のため休館します。
9月24日(月)は振替休日のため休館します。

京教図書館 News No. 83 2007年8月号

編集発行：京都教育大学附属図書館

発行日：平成19年8月1日

内容に関するお問い合わせ先：

附属図書館（内線8176）



京都教育大学